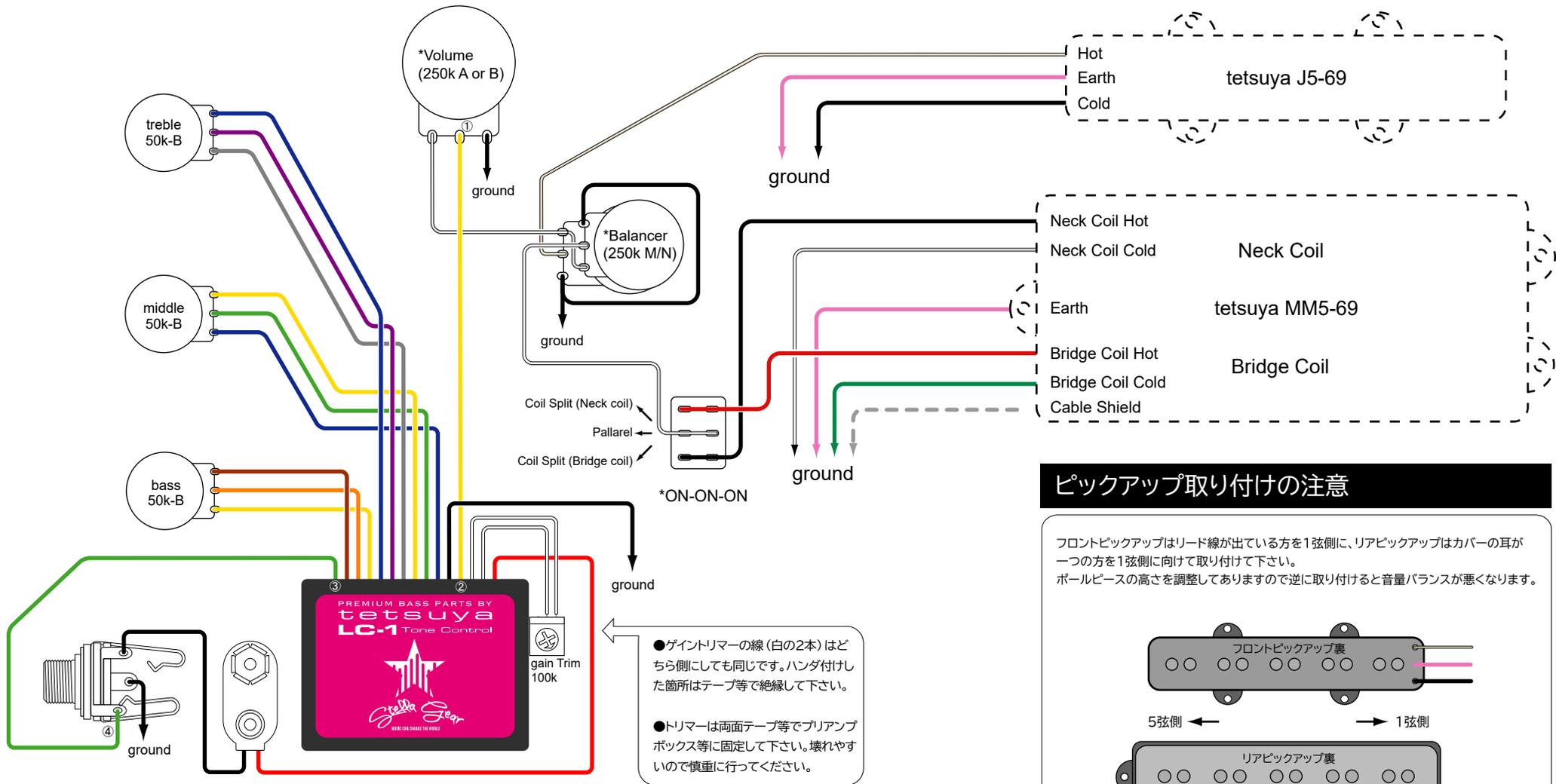
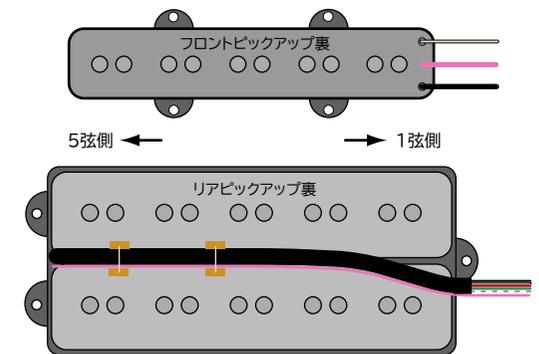


PREMIUM BASS PARTS by tetsuya Pickup & Circuit 配線図



ピックアップ取り付けの注意

フロントピックアップはリード線が出ている方を1弦側に、リアピックアップはカバーの耳が一つの方を1弦側に向けて取り付けして下さい。
ポールピースの高さを調整してありますので逆に取り付けると音量バランスが悪くなります。

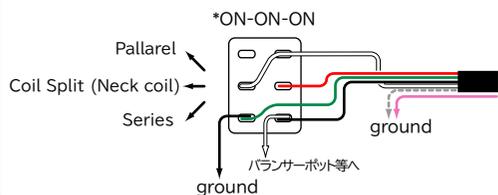


*図中のボリュームポット、バランスポット、ミニスイッチは付属していません。元についていた物をお使い頂くか、別途お買い求め下さい。

*tetsuyaモデルピックアップとサーキットをセットでお使いになる場合のボリューム、バランスの抵抗値は図中の値が推奨値です。他のピックアップをご使用になる場合は、ピックアップのメーカー推奨の物をご使用下さい。

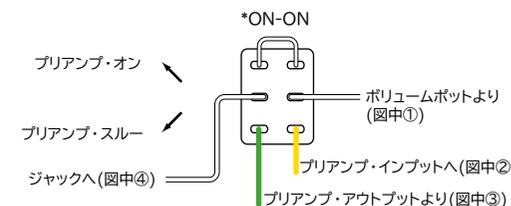
リアピックアップ配線バリエーション

●下記の配線でコイルスプリット、パラレルの他にシリーズが追加できます。



サーキット配線バリエーション

●下記の配線でプリアンプのバイパスが可能です。



PREMIUM BASS PARTS by tetsuya Pickup & Circuit 取扱説明書

特徴

1、2弦と3、4、5弦のコイルを分けたスプリットコイルのピックアップにおいて、ブレーススタイルによっては音量バランスが崩れると言う現象を回避する為にシンプルなシングルコイル構造（ブリッジ側はダブルコイル）を採用。

また、各ポールピースのピッチ（19mmに対応）はLAKLANDに合わせてセッティングし、さらに5弦のみあえて高めにセットすることにより、Low-Bのサウンドに張りを持たせつつ最適な音量バランスが得られます。

出力は控え目ですが、クリアで抜けの良いサウンドは様々なジャンルに対応可能です。ノイズに関してはスプリットコイルに頼ることなく、アーシングにより解消。さらに、ブリッジピックアップのネック側コイルとネックピックアップのミックス、及びブリッジピックアップ単体のパラレルやシリーズではハムキャンセル効果が得られます。

ピックアップ単体での使用も可能ですが、サーキットとセットで使用することで、よりパーフェクトなサウンドを手に入れる事が出来ます。

幅広い音域をカバーするアクティブ3バンドEQ。ベースは100Hzを中心に±15dB、ミドルはローミッド寄りの450Hzを中心に±9dB、トレブルは5kHzを中心に±12dBがそれぞれブースト&カットされます。

楽器本来の音色を生かしながら、タイトなサウンドからウォームなサウンドまでストレスなく直観的なサウンドメイクが可能。

トリムポットの使用により0dB～+9dBのアウトプットゲインの調整も可能で、バッファやブースターのように使用することもできます。

仕様

フロントピックアップ

- マグネット:アルニコ2
- 直流抵抗値:7.83kΩ
- レゾナントピーク:3.8kHz

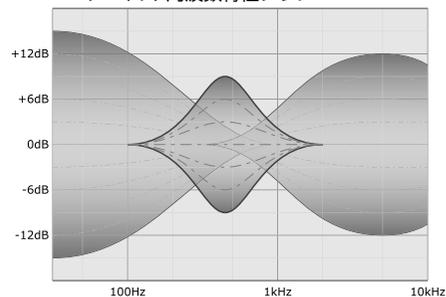
リアピックアップ

- マグネット:アルニコ5
- 直流抵抗値:4.16kΩ(パラレル)
8.32kΩ(スプリット)
- レゾナントピーク:4.4kHz(パラレル)

サーキット

- 入力インピーダンス:500kΩ
- 出力インピーダンス:1kΩ
- 推奨負荷インピーダンス:10kΩ以上
- 消費電力:8mA
- パッシブ、アクティブ、両ピックアップに対応

サーキット周波数特性グラフ



パッケージ内容

フロントピックアップ

- ピックアップ本体 (tetsuya J5-69)
- 取り付けビス 4本

リアピックアップ

- ピックアップ本体 (tetsuya MM5-69)
- 取り付けビス 3本

サーキット

- サーキット本体 (tetsuya LC-1)
- ポット 50kΩB 3個
- トリマーポット 100kΩ
- アウトプットジャック(ステレオ)
- バッテリースナップ

取付けの注意

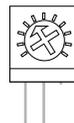
- 裏面の配線図を参考に行ってください。
- パーツへ熱を加え過ぎたり、リード線を強く引っ張ると故障の原因になります。
- 楽器本体の改造を要する場合があります。その際の取付けはお求めになられた販売店もしくはお近くのリペアショップにご相談下さい。

使用上の注意

- バッテリーは006P(9V)をご使用下さい。また、プラグを挿したままにすると電池は消耗しますので注意して下さい。

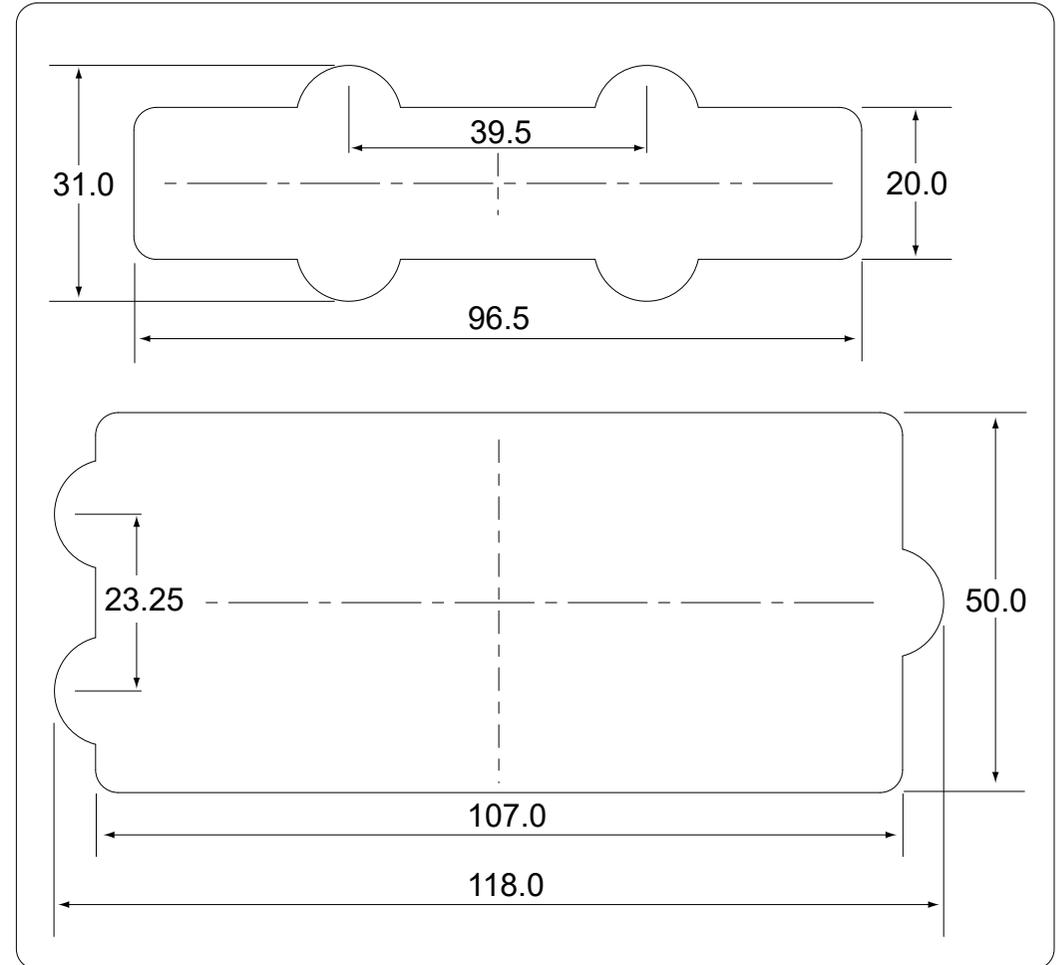
- トレブル、ミドル、ベースがそれぞれセンターの時、フラットな特性になります全てのレベルを上げ過ぎると音が歪む場合があります。EQツマミはセンターポジションを基本的に音作りされることをお勧めします。

- ゲイントリマーの可変幅は0dB(1倍)～+9dB(約3倍)です。右図目盛りの位置がtetsuya氏の基本セッティングです。ゲインもまた、上げ過ぎると音が歪む原因になります。



- トリマーポットの調整にはサイズの合った精密ドライバーを使用して下さい。また、トリマーの寿命は約100回転とデリケートなので扱いにご注意下さい。

ピックアップキャビティサイズ(実寸)



発売元:株式会社イー・エス・ビー
〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東3-9
TEL 049-274-3810
URL>>> <http://www.espguitars.co.jp>
E-mail >>> info@espguitars.co.jp